

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援対象団体エントリーシート

平成30年10月31日

和泉市長 あて

団体名 いずみこどもAID

代表者名 関戸真紀

所在地

電話

和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金の交付を受けたいので、和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業に関する要綱第5条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

記

1. 事業の名称 こどもの居場所・学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場
2. 事業の概要 不登校のこども、しんどい思いを抱えながら学校に通っているこどもに、安心して自分らしく過ごせる居場所を提供するとともに、保護者の交流の場も提供する。
3. 事業費総額 105,792 円
(うち、対象経費 105,792 円)
4. 交付希望額 52,896 円
5. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。
(はい ・ いいえ)
6. 添付書類
 - (1) 団体概要調書（様式第2号）
 - (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
 - (3) 事業計画書（様式第3号）
 - (4) 収支予算書（様式第4号）
 - (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	イズミコドモエイド		
団体名	いずみこども A I D		
団体の目的	こどもが安心できる環境づくり		
市内事務所の所在地			
	電 話		FAX ()
フリガナ	セキド マキ		
代表者氏名	関戸 真紀		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名) ※ フリガナ ヤマト サチコ		電 話
	山本 祥子		FAX ()
設 立 年 月	平成 18 年 4 月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	有 () 2 回発行) ・ 無	会員数	45 人
メールアドレス			
ホームページ	http://izumi-kodomo-aid.org/ ブログ http://ameblo.jp/cocoizumi2014/		
主な事業内容	・チャイルドライン事業 ・こどもの居場所事業		
主な活動の実績	平成 12 年 和泉市と協働でチャイルドライン運営委員会発足 平成 13 年 チャイルドライン事業スタート 平成 18 年 チャイルドラインいずみ AID 設立 平成 26 年 いずみこども AID に名称変更 平成 26 年 9 月～ こどもの居場所「CoCo」の運営		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)	年度	名称	金額 (円)
	平成 28 年度	和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金	223,265 円
	平成 29 年度	和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金	176,379 円
	平成 30 年度	和泉市あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金	200,095 円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

申込事業の名称	こどもの居場所・ 学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場	
事業の必要性 * 別紙添付可	（事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等） 大人も子どもも生きづらい昨今、社会的弱者である子どもには、より一層そのしんどさがのしかかっている。周りに気を使いながら、疲れて生活している子どもたちからのサインの一つが不登校という現象であり、そんなサインを出すぎりぎりの状態やそんなサインすら出せず学校に通い続ける子どもたちも大勢いると考える。 また保護者も戸惑い・不安を抱くが、情報収集できる場・不安を吐き出す場があまりないのが現状である。 （申込事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果、団体・参加者・地域全体のメリット等） こどもは自分の気持ちを受けとめてもらうことで安心し、ありのままの自分を受け入れることができるようになる。自尊感情・自己肯定感が高まり、自分の気持ちを大切にしながら、課題解決に向けて自分の力で進んでいくことが期待される。また、自分の気持ちを大切にできることで、他者の気持ちも大切にできるようになると考える。 保護者も交流の場に参加し、しんどさに共感しあうことで、気持ちが楽になり、こどもとの向き合い方も変化していくことが考えられる。	
事業内容 * 別紙添付可	（主な対象者）小学生から18歳までのこどもと保護者 参加予定者数 こども3名 保護者20名 （事業実施期間）2019年4月～2020年3月 （事業実施場所）公共施設等 （問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施するのか）【こどもの居場所の開設】 来所したこどもとスタッフが一緒に過ごす。スタッフは、指導や助言をするのではなく、こどもの気持ちに寄り添いながら、こどもが自分で選んで動いていける環境をつくる。大きなイベントをするのではなく、こどもが自分の気持ちを大切にしたい日常を積み重ねる経験をえられるような関わりをもつ。保護者やこどもに居場所を知ってもらい、安心感を持って利用してもらえるよう居場所開放日を設ける。また要望に応じて説明会・懇談会・居場所体験を実施する。 【保護者同士の交流が持てる場の提供】（CoCo de おしゃべり）保護者が自分の気持ちを話せる場を設ける。不定期に講師を招き、保護者の気付きにつなげる 【その他】スタッフを養成する講座、スタッフの継続研修の実施	
事業スケジュール	時期（月） 4月 3月	・こどもの居場所の開所 週1回 10時～14時 見学・個人説明会・体験の実施(随時) 保護者との個人懇談会 ・保護者交流会(CoCo de おしゃべり)の開催 第1・第3金曜日 10時～12時 ・定例会(研修) 第2金曜日 ・運営会議 第4金曜日 * 運営資金逼迫のため、4月より移転予定居場所については、現在開催場所を検討中 保護者交流会は、公共施設を借用する

収支予算書

事業の名称： こどもの居場所・学校へいきづらいこどもの保護者の交流の場

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	52,896 円	あなたが選ぶ市民活動支援事業支援金
事業収入	10,200 円	登録費 1,000 円×3 人 = 3,000 円 CoCo de おしゃべり 運営協力費 100 円×3 人×24 回 = 7,200 円
自主財源	42,696 円	
合 計	105,792 円	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
報償費	18,000 円	CoCo de おしゃべり講師謝礼(3,000×6 回)
消耗品費	15,000 円	文房具・用紙・インク代
印刷製本費	10,000 円	リーフレット・チラシ代金
役務費	10,400 円 4,392 円	スタッフ保険代(800 円×10 名) = 8,000 円 子ども保険代(800 円×3 名) = 2,400 円 書類郵便料(120 円×12 回) = 1,440 円 郵便料 82 円×(3 名×12 ヶ月) = 2,952 円
使用料	48,000 円	CoCo de おしゃべり(公共施設利用料 24 回)
合 計	105,792 円	
対象経費	105,792 円	

※費目は、別表（第9条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定

3. その他

支援金内定額が交付希望額より少ない場合、申請事業の遂行は可能ですか。

（はい・いいえ）

「はい」と答えた団体のみご記入ください。

・申請事業の遂行のため、どのような取り組みや工夫を行いますか。

（ 自主財源を増やす 寄附をつのる ）

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。